

2014/08/21

日刊時事ニュースより

解体工事現場の（死亡）事故



21日11時40分頃、東京都中央区日本橋人形町2丁目のビル建設現場で防塵用の鉄製パネルが倒れ、付近を歩いていた男性が下敷きとなった。男性は病院へ救急搬送されたが間もなく死亡した。警視庁久松署は業務上過失致死の疑いで工事関係者らから詳しい事情を聴くと共に、事故の詳しい原因を調べる方針。

東京・中央区のビル解体現場で鉄製パネルが倒れ、歩行者の66歳男性が死亡した事故で、作業員が手順を誤り、パネルの支柱を全て外していたことがわかった。21日、鉄製のパネルが倒れ、歩行者が死亡する事故が起きた、中央区日本橋のビル解体現場では、22日朝から、現場責任者立ち会いのもと、現場検証が行われている。事故当時、工事現場では、支柱の下に埋められた鉄板を抜き取る作業をしていて、警視庁によると、現場責任者は、「本来は、支柱を1本ずつ抜いて、鉄板を外したあとに、支柱を戻す作業を順にしていけないといけないが、気がついたら、作業員が6本全てを抜いてしまっていた」と話しているという。警視庁は、手順の誤りが事故の原因になった可能性があるとして、業務上過失致死の疑いで捜査している。